

## CWB-GFP 使用法

### 内容

- CWB-GFP 凍結品 (2mg/ml) 100 $\mu$ l 1 本

### グラム陽性細菌観察法

1. CWB-GFP 凍結品を氷上で溶かす
2. 50 $\mu$ l 検体（細菌懸濁液：注意1）と 2.5 $\mu$ l の CWB-GFP を混合
3. 混合液を 1 分間放置
4. スライドガラスに 5 $\mu$ l 混合液を滴下
5. カバーガラスをかけて蛍光顕微鏡で観察（GFP 用フィルター）

注意1：塩濃度が高い場合、結合が弱くなります。脱塩するか、遠心集菌して、水に懸濁してください。

### グラム陰性細菌観察法

1. CWB-GFP 凍結品を氷上で溶かす
2. 50 $\mu$ l 検体（細菌懸濁液：注意1）に 2.5 $\mu$ l の 1% 塩化ベンザルコニウム溶液\*を混合
3. 混合液を室温で 2 分間放置
4. 混合液に 2.5 $\mu$ l の CWB-GFP を混合
5. 混合液を 1 分間放置
6. スライドガラスに 5 $\mu$ l 混合液を滴下
7. カバーガラスをかけて蛍光顕微鏡で観察（GFP 用フィルター）

塩化ベンザルコニウム溶液\*：

例えば、10% 溶液が和光純薬から購入可能です。商品番号 028-05466

注意1：塩濃度が高い場合、結合が弱くなります。脱塩するか、遠心集菌して、水に懸濁してください。

### 使用上の注意

#### ■ 保存

酵素溶液を調製した後は氷上で取り扱い、なるべく速やかに使用してください。溶液状態で保存した場合、酵素活性が低下するため、開封後は一度で使い切ることをお勧めします。どうしても複数回使用の場合には、小分けして-80 $^{\circ}$ Cで凍結保存し、小分け

したものは一度にお使いください。複数回の凍結融解は活性を低下させます。

#### ■ 廃棄

本製品はタンパク質溶液（グリセロール 20%含有）です。廃棄の際は、各種分別し、都道府県、市町村が定める廃棄物の適正処理に従い廃棄処理してください。

#### ■ 取り扱い上の注意

- ・ 本製品は日本国内における研究用途に限ります。
- ・ 本製品は研究用試薬です。ヒト、動物への医療、臨床診断には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品などとして使用しないでください。
- ・ 本製品の試薬類を使用前後に口に入れたり、素手で触れたり、目に入れたりしないでください。口に入れた場合は、口をよくすすいだ後、皮膚についた場合は、大量の水で洗浄した後、また目に入れた場合は大量の水で洗浄した後、医師に連絡を取り、指示を受けてください。
- ・ 本製品の容器及び試薬が食品などへ混入しないよう、保管、廃棄に充分ご注意ください。
- ・ 本製品は幼児の手の届かないところに保管してください。

#### ■ 保証

製造元は特別な、若しくは結果として生じる損害または間接的に生じる費用を含むいかなる損害にも責任を負いません。

製造元・お問い合わせ先:

株式会社バイオエネックス

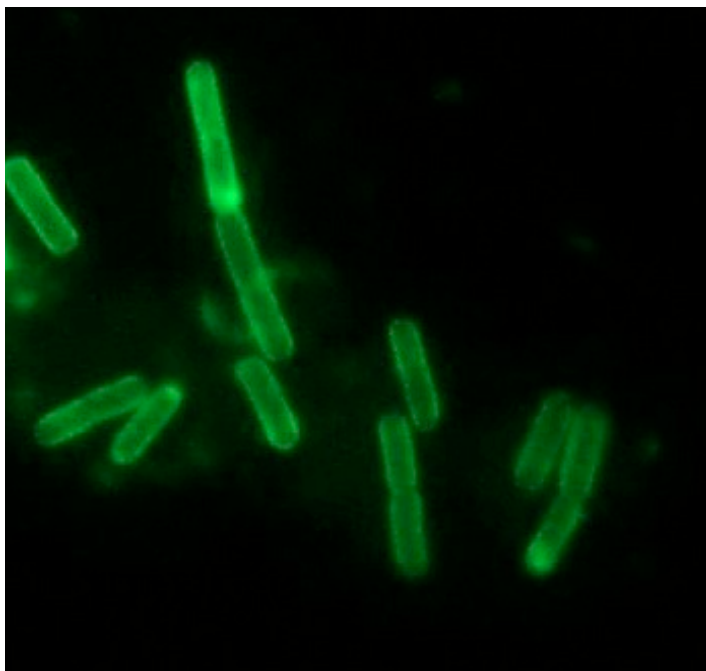
〒739-0046 広島県東広島市鏡山 3 丁目 10-31 広島大学産学連携センター  
インキュベーションオフィス内

TEL・FAX: 082-421-3758 E-mail: [info@bioenex.co.jp](mailto:info@bioenex.co.jp)

## 活性確認書

*Bacillus cereus* 菌体

撮影日 (2011 年 12 月 19 日)



オリンパス落射蛍光顕微鏡 BX51

U-MNIBA (470-490nm 励起光、515-550nm 蛍光) フィルター又は  
WU (330-385nm 励起光、420nm-蛍光) フィルターを使用

サンプル: 一晩培養した *B. cereus* 0.3ml を集菌後、蒸留水 0.3ml に懸濁して再度集菌。再び、蒸留水 0.3ml に懸濁後、0.05ml を別チューブに移した。CWB-GFP2.5  $\mu$ l 混合して、1 分間静置後、蛍光顕微鏡で観察。